



昭和44年度指定 高指第13号

(故) 矢木 富次郎

【雅号】 岳山 がくざん

生年／明治43年 指定技術名／銅器・焼型



ちゅうどう「らふ」

銅「裸婦」

焼型鑄造の大型製品を中心として作家作品を数多く手掛ける。作家の手の跡が残る作品制作を得意とした。焼型は書いて字のごとく、型を900℃前後まで焼上げ、400℃前後で溶けた金属を注湯する。大型製品の鑄造は大変難しいため、経験と熟練した技が要求される。

昭和48年作 素材・技法／青銅・焼型鑄造 寸法／高さ83cm×幅38cm×奥行54cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和31年 高岡鑄金会展高岡市長賞
昭和50年 伝統的工芸品産業功労者表彰(中部通産局長)
昭和51年 富山県功労表彰
昭和52年 卓越した技能者(現代の名工)表彰
昭和55年 黄綬褒章

〔経歴〕

大正11年 京都鑄物師小倉金鳳氏、東京鑄物師大滝胤久氏に師事し焼型鑄造技法を習得
昭和17年 婦高し、高岡銅器焼型鑄造に専念する
昭和45年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
昭和51年 高岡巧美会会長